

(四倉地区まちづくり検討会)
令和3年度第1回ワーキンググループ会議 (4 KuLabo①②③合同開催)
要旨

■ 日時

令和3年11月24日(水) 18:30~20:00

■ 場所

四倉町商工会館 大会議室

■ 会議の流れ

- 1 開会
- 2 ワーキンググループメンバー紹介 (委員名簿により紹介)
- 3 挨拶 (都市計画課)
- 4 議事
 - (1) ワーキンググループについて
 - ・別紙「説明資料」に基づき、市街地再生に向けた全体の流れ、ワーキンググループ設置の目的、検討の進め方について、事務局から説明がありました。
 - (2) 各施策案の概要と検討のポイントについて
 - ・別紙「検討資料」に基づき、各施策案についての事務局説明があり、その後、検討のポイントに基づき、意見交換が行われました。 ※意見交換の概要は後記参照
 - (3) 今後の進め方について
 - ・別紙「説明資料」に基づき、今後のワーキンググループ開催時期 (次回は1月下旬の開催を予定)、開催の方法について、事務局から説明がありました。
- 5 その他
 - ・特になし。
- 6 閉会



■ 意見交換の概要(要旨) ○: 関係団体委員 ⇒: 事務局・行政委員

○ ワーキンググループ会議については、もう少し意見が言い合えるような会議にしてほしいです。行政が考えていることを説明したあとに、皆さんが話し合えるような場を作っていたいただければ、もっと積極的に関わっていただけると思うので有意義になると思います。

⇒ 今回は、ご説明のボリュームが多いことや、密に長い時間会議を開くことも困難なため、このような形式をとらせていただきました。今回お示ししたことも含めて、次回につなげる予定です。

○ ラボ③の商店街にぎわいづくりについては、実際に商店街で活動されている方がメンバーに居た方がいいと思います。

⇒ 次回以降、ご紹介いただける方やお声かけできる方がいらっしゃれば、私たちからも是非アプローチさせていただき、事業主のメンバーを増やしていきたいと思います。

○ 駅裏に関しては、行政で使う土地がどれくらいなのか、民間の土地はどれくらい残るのか、早期に絵に描いていただかないと、民間でもどんな賑わいがつくれるか検討できないと思いますので、よろしくお願ひします。

⇒ 私たちも、民間活力の導入による事業化への道筋もあるという認識ですので、早期にある程度のものをお示しできるよう努めます。

- 市道梅ヶ丘1号線は、場所によって狭く、現在も小中学生、高校生の通学路になっており、車の交通量も多いです。小中学校の通学路という位置付けになるならば、安全に通学できる道路にしたいです。あの道路は区画整理でセットバックして道路を拡幅するのはかなり難しいと思いますので、カラー舗装や歩道エリアを設けるなど、できることからやっていき、子どもたちの安全を確保できればと思います。
- 市道梅ヶ丘1号線は、道路も狭く、ボコボコしています。この道が少しでもよくなれば、駅西側に学校を建てるのもいいと思いますが、子どもたちの安全第一と考えると、学校の整備計画より、道路の修繕を先にやった方がいいと思います。
⇒ 次回以降の議題にもなってくるのですが、具体的な場所や地図上での議論といった場面もあろうかと思いますが、よろしく願います。また、学校より先に道路からといった意見については、検討させていただきます。
- 工程的なところだと、何年度くらいに仕上げる予定ですか。
⇒ 現時点で、何年度に建設が始まり、複合施設をいつごろ完成させるといったお話が出来ません。それを今後明確にしていくために、この計画の中身を作らせていただいております。事業全体が見えてくると、全体事業費が見えてきます。それを市の財政計画の中に位置付けていくことが重要になってきます。そのため、計画の中身の議論をさせていただきますので、御理解いただきますようお願いいたします。
- こういった施設を考えるにあたって、人口相場という視点で見れば、大浦地区は若干増えてるところもあろうかと思いますが、また、40年先といったお話もありましたが、もっと若いメンバーも入れた方がいいと思います。
⇒ 今後検討していきたいと思います。
- 現在の公共施設は点在しています。跡地をなにに使うかは今後考えるとして、ここまで行く道路のことを考えなければいけないと思います。今の公共施設に行くための道路を整備すれば、駅西側の土地に小中学校を移すこととなっても、その時期があとになろうと先になろうと、安全な通学路の確保ができると思います。
- セメント跡地に小中学校を移したとしても、四ツ倉駅が跨線橋で渡れるようになるので、であれば、四ツ倉駅に通学できる道路をつくり、そこで行き来できるようなことを考えていけばいいと思います。
⇒ 次回以降にしっかりと検討していけるよう、取り組んでまいります。
- 四倉地区は、公共施設の老朽化、さらに浸水地被害という問題がありますので、早急に計画が実現されることを願っています。セメント跡地は民間の土地ですので、いつまでもただらだと期間を置くことはできないと思います。そのため、こういった検討会の中でも、早急に決定していかないと土地の活用の問題も出てくると思いますので、よろしく願います。
- 四倉中学校につきましては、来年度から大野中学校の生徒が通うこととなります。子どもたちにとって、安全安心で利便性の高い拠点形成のために、引き続きよろしく願います。
- 色々な施策が出されている中で、四倉の、漁港があるところ、道の駅があるところなどといった四倉のいいところを活かした施策が計画に反映されると、四倉で仕事して

いる方も、ここで育った私たちも嬉しいなと思いましたが、計画に反映いただけるようご考慮いただければと思います。

- 3テーマに絞るとはいえ、これだけ人数がいれば、意見の集約が難しいと思いますので、ブレインストーミングを導入するなど、会議の仕方を工夫していただければ、会議が活発になるかと思います。
- 私たちは、行政の計画に対して○・×つけるのではなく、これをなるべくいい形で、いち早く形にできるよう、力を尽くすことが使命であろうと思います。私たちは、これはだめ、あれはだめという以前に、私たちの次の世代に、これ以上借金を残さないという気持ちで、なるべく早く、なるべく一つの意見にまとまるように力を尽くすことが、市にとっても、四倉町にとっても、大きいことであろうと思います。